

洪水・土砂災害を知る

洪水・土砂災害の危険性を知っておきましょう。

洪水について

- ！ 上田市には千曲川を中心に、神川・浦野川・依田川をはじめ多くの川がある
- ！ はん濫の危険が高くなると河川管理者（国・県）などから情報が発表される

想定している雨量（想定最大規模）

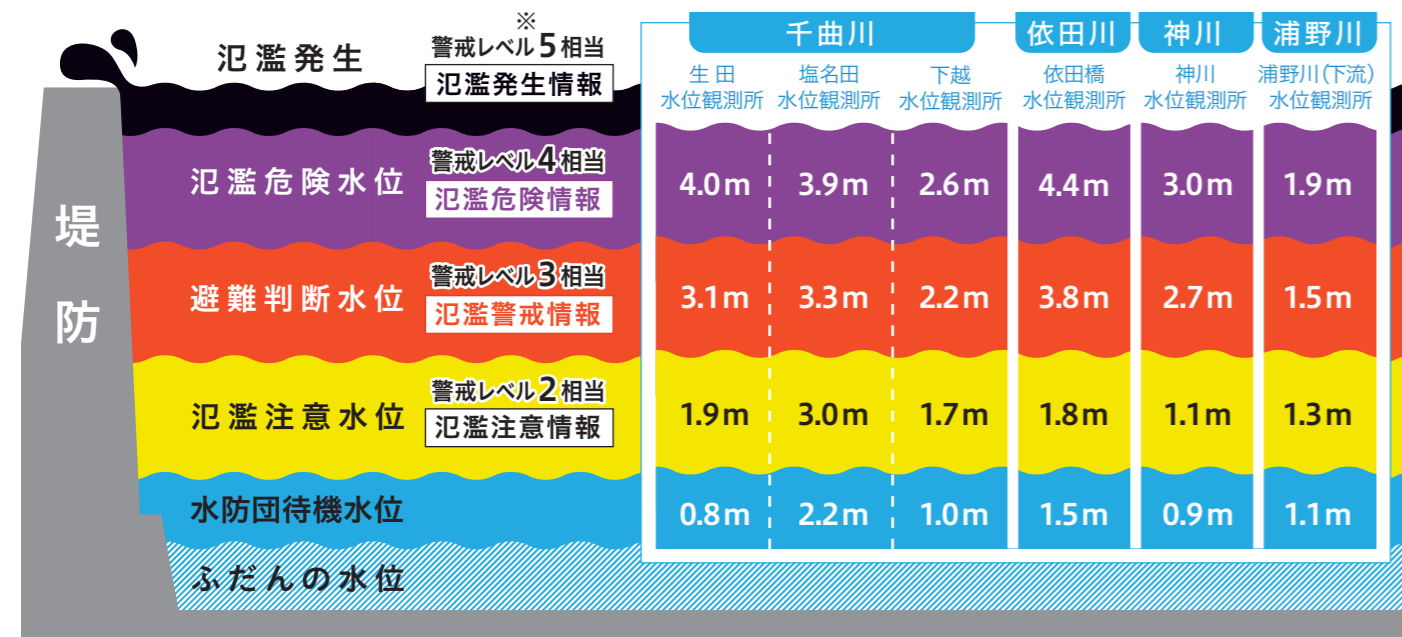
河川名	河川管理	想定する雨量
千曲川	国	千曲川流域の2日間の総雨量396mm
	県	千曲川流域（上流）に48時間で396mmの降雨を想定
神川	県	神川流域全体に24時間で総雨量694mm
浦野川	県	浦野川流域全体に24時間で713mmの降雨を想定
依田川、霊泉寺川、長沢川、矢の沢川、権兵衛川、武石川、余里川、茂沢川、深山沢川、洞川	県	対象河川流域全体に48時間で762mmの降雨を想定
矢出沢川、黄金沢川、瀬沢川、塩川沢川、笠石川（東御市）、成沢川（東御市）、金原川（東御市）	県	対象河川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
内村川	県	内村川流域全体に24時間で772mmの降雨を想定

平成27年の水防法改正により、国が管理する千曲川と長野県が管理する千曲川、神川、浦野川、依田川などを対象に「想定し得る最大規模の降雨」により対象河川がはん濫した場合に、浸水が想定される区域と浸水の深さを示した「浸水想定区域図」が公表されています。

「想定し得る最大規模の降雨」とは、1000年に1回程度の降雨（1年間にその規模を越える洪水が発生する確率が1/1000程度）です。

上田市を流れる河川の水位

※警戒レベルについては P61,62参照

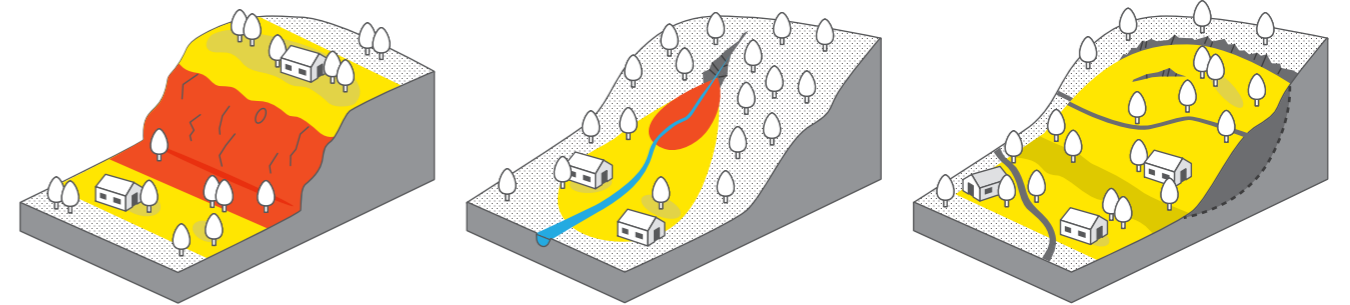


土砂災害について

- ！ 土砂災害は大雨や地震によって突然に起こる
- ！ 前兆現象に注意し、危険を感じたら避難情報が出ていなくてもすぐに避難

土砂災害の特徴と前兆現象

■ 警戒区域 ■ 特別警戒区域



がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

急な斜面が大雨や地震などにより、突然崩れ落ちる現象です。

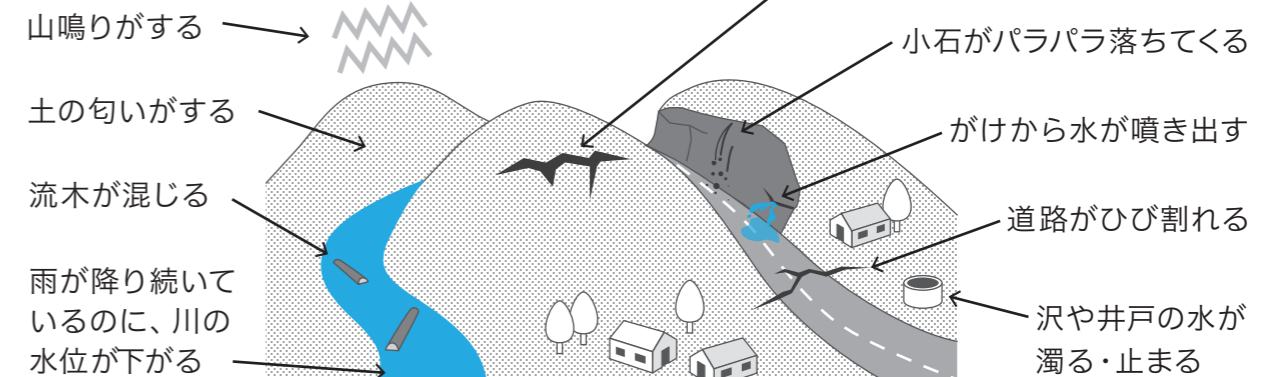
土石流

谷や山の地面の土や石が、水とともに一気に流される現象です。

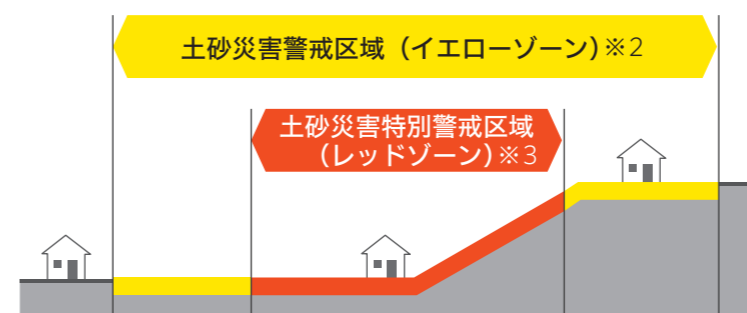
地すべり

ゆるやかな斜面が広い範囲にわたりすべり落ちる現象です。

ポイント こんな時はすぐ避難



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域



確認しよう

自宅は安全？

P11～洪水・土砂災害マップで自宅周辺は土砂災害の危険は無いが確認しよう



※1長野県が、土砂災害防止法に基づき「土砂災害が発生したときに住民などの生命または身体に危害が生じるおそれのある地域」を指定したものです。 ※2土砂災害が発生したときに被害等を受けるおそれのある地域です。土砂災害の危険性の周知や避難体制の整備が図られます。 ※3土砂災害警戒区域内で被害等を受けるおそれが特に高い地域です。区域内での開発行為の制限や新築・増改築の際の構造規制等が行われます。